



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 筑邦銀行
コード番号 8398 URL <http://www.chikugin.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

(氏名) 佐藤 清一郎
(氏名) 石井 智幸
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 0942-32-5353

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(単位未満は切捨てて表示)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,905	4.3	1,957	133.8	964	137.7
25年3月期第3四半期	13,328	0.2	836	△25.0	405	254.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,509百万円 (129.6%) 25年3月期第3四半期 657百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.47	15.36
25年3月期第3四半期	6.51	6.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	722,358	35,944	4.5
25年3月期	676,114	34,769	4.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,010百万円 25年3月期 32,004百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,860	△0.1	1,390	3.5	730	1.9	11.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	62,490,200 株	25年3月期	62,490,200 株
26年3月期3Q	202,546 株	25年3月期	198,619 株
26年3月期3Q	62,289,995 株	25年3月期3Q	62,293,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
平成26年3月期 第3四半期決算説明資料	7
(1) 平成26年3月期 第3四半期損益状況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースの 카테고리による開示	8
(3) 有価証券の評価差額(連結)	9
(4) 預金・貸出金の残高(単体)	9
(5) 個人預かり資産残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策などによる円高の修正を背景に雇用情勢の改善や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られました。また、消費者マインドが改善され個人消費も持ち直すなど、全体としては緩やかな回復の動きが続き、本格的な景気回復への期待が高まりました。一方で、世界経済の下振れ懸念など海外景気は不透明な状況が続きました。

金融情勢につきましては、「アベノミクス」を具現化した日本銀行による異次元の金融緩和策などから、円高の修正、株高の動きが続きました。為替相場(ドル円相場)は当第3四半期連結会計期間末には105円台となり、日経平均株価は当第3四半期連結会計期間末には16,200円台となりました。長期金利の代表的な指標である新発10年国債利回りは、流動性の低下懸念などから上昇した後徐々に金利水準を切り下げ、当第3四半期連結会計期間末には0.7%台となりました。

以上のような金融経済環境のもと、当行グループは、経営の効率化、業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

経常収益は、運用利回りの低下により貸出金などの資金運用収益が減少しましたが、有価証券の売却益が増加したことなどから、前年同四半期連結累計期間比5億77百万円増収の139億5百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用や不良債権の処理費用が減少したことなどから、前年同四半期連結累計期間比5億43百万円減少の119億48百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同四半期連結累計期間比11億21百万円増益の19億57百万円となりました。四半期純利益は、経常増益になったことなどから、前年同四半期連結累計期間比5億59百万円増益の9億64百万円となりました。なお、四半期包括利益は、その他有価証券の評価益が増加したことなどから、前年同四半期連結累計期間比8億52百万円増加の15億9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の当第3四半期連結会計期間末の残高は、預金等は、資金調達のコアとなる個人預金が引き続き増加したことに加えて公金預金も増加したことから、前連結会計年度末比396億円増加の6,415億円となりました。貸出金は、地元の個人事業主や中小・中堅企業を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めました結果、中小企業等向けなどの貸出金が増加したことから、前連結会計年度末比5億円増加の4,104億円となりました。有価証券は、引き続き預金による資金調達が好調に推移したことから、国債などの債券を中心に投資を行い、前連結会計年度末比380億円増加の2,467億円となりました。また、純資産は、内部留保により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末比11億円増加の359億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性があります。平成25年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	15,764	13,067
コールローン及び買入手形	10,000	18,800
買入金銭債権	313	383
商品有価証券	163	173
有価証券	208,627	246,725
貸出金	409,894	410,483
外国為替	606	518
リース債権及びリース投資資産	7,081	7,913
その他資産	6,583	7,561
有形固定資産	10,400	10,141
無形固定資産	1,125	694
繰延税金資産	725	175
支払承諾見返	8,634	9,160
貸倒引当金	△3,807	△3,440
資産の部合計	676,114	722,358
負債の部		
預金	598,279	632,134
譲渡性預金	3,662	9,455
コールマネー及び売渡手形	15,000	15,000
借入金	8,158	11,032
外国為替	0	—
その他負債	4,250	6,201
退職給付引当金	1,717	1,707
役員退職慰労引当金	39	42
偶発損失引当金	188	182
繰延税金負債	—	83
再評価に係る繰延税金負債	1,413	1,413
支払承諾	8,634	9,160
負債の部合計	641,344	686,414
純資産の部		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	5,759	5,759
利益剰余金	12,079	12,670
自己株式	△77	△78
株主資本合計	25,761	26,350
その他有価証券評価差額金	4,126	4,543
土地再評価差額金	2,116	2,116
その他の包括利益累計額合計	6,243	6,659
新株予約権	72	114
少数株主持分	2,692	2,819
純資産の部合計	34,769	35,944
負債及び純資産の部合計	676,114	722,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	13,328	13,905
資金運用収益	7,249	7,079
(うち貸出金利息)	5,912	5,695
(うち有価証券利息配当金)	1,181	1,214
役員取引等収益	1,293	1,315
その他業務収益	4,670	4,972
その他経常収益	115	538
経常費用	12,491	11,948
資金調達費用	331	316
(うち預金利息)	269	256
役員取引等費用	468	503
その他業務費用	3,994	3,714
営業経費	7,096	7,153
その他経常費用	600	261
経常利益	836	1,957
特別利益	20	—
負ののれん発生益	20	—
特別損失	1	3
固定資産処分損	1	3
税金等調整前四半期純利益	856	1,953
法人税、住民税及び事業税	87	465
法人税等調整額	264	400
法人税等合計	351	865
少数株主損益調整前四半期純利益	504	1,087
少数株主利益	99	123
四半期純利益	405	964

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	504	1,087
その他の包括利益	152	422
その他有価証券評価差額金	152	422
四半期包括利益	657	1,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558	1,380
少数株主に係る四半期包括利益	98	129

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成26年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 平成26年3月期 第3四半期損益状況(単体)

	26年3月期 第3四半期 (9ヶ月間)		25年3月期 第3四半期 (9ヶ月間)	26年3月期 通期業績予想 (12ヶ月間)	25年3月期 通期実績 (12ヶ月間)
		増減			
業務粗利益	8,414	392	8,022		10,859
(除く国債等債券損益)	(7,418)	(△206)	(7,624)		(10,118)
うち資金利益	6,684	△157	6,841		9,066
うち役務取引等利益	713	△27	740		1,000
経費(除く臨時処理分)	6,858	82	6,776		8,950
うち人件費	3,391	46	3,345		4,448
うち物件費	3,157	47	3,110		4,087
実質業務純益	1,556	310	1,246	1,935	1,908
コア業務純益	560	△287	847	1,020	1,167
一般貸倒引当金繰入額	—	370	△370	△35	△366
業務純益	1,556	△61	1,617	1,970	2,275
うち国債等債券損益	995	597	398		740
臨時損益	180	1,144	△964		△1,180
うち不良債権処理額	77	△696	773	900	1,004
うち貸倒引当金戻入益	89	89	—	—	—
(与信関係費用)	△11	△413	402	865	637
うち株式等関係損益	246	313	△67		△32
経常利益	1,737	1,084	653	1,210	1,094
特別損益	△3	△2	△1		△4
四半期(当期)純利益	951	581	370	720	603

注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 与信関係費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

実質業務純益 15億56百万円

実質業務純益は、資金利益が減少したものの、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同四半期比3億10百万円増益の15億56百万円となりました。また、通期業績予想19億35百万円に対する進捗率は80.4%となりました。

経常利益 17億37百万円

経常利益は、不良債権処理額が減少したことに加え、株式等売却益が増加したことなどから、前年同四半期比10億84百万円増益の17億37百万円となりました。また、通期業績予想12億10百万円に対する進捗率は143.5%となりました。

四半期純利益 9億51百万円

四半期純利益は、経常増益になったことなどから、前年同四半期比5億81百万円増益の9億51百万円となりました。また、通期業績予想7億20百万円に対する進捗率は132.0%となりました。

【平成26年3月期の単体業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)】

平成26年3月期の単体業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性があります。平成25年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、単体業績予想は次のとおりであります。

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	12,630	百万円 1.0%	1,210	百万円 10.5%	720	百万円 19.3%	11 円 55 銭

(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示

【単体】

(単位：百万円)

	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末(実績)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2,060	2,692	2,080
危険債権	14,143	13,786	14,579
要管理債権	1,895	1,926	1,990
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)	18,098 (3,229)	18,405 (3,343)	18,650 (3,168)
正常債権	405,796	396,607	391,801
総債権合計	423,894	415,012	410,452
開示債権比率	4.26%	4.43%	4.54%

【連結】

(単位：百万円)

	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年9月末(実績)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2,155	2,803	2,163
危険債権	14,143	13,786	14,579
要管理債権	1,895	1,926	1,990
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)	18,193 (3,229)	18,516 (3,343)	18,733 (3,168)
正常債権	402,038	392,334	387,851
総債権合計	420,232	410,850	406,584
開示債権比率	4.32%	4.50%	4.60%

(注) 各四半期末の計数は、資産の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

(3) 有価証券の評価差額(連結)

○評価差額

(単位：百万円)

	平成25年12月末		平成24年12月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	245,811	6,977	221,035	2,567
株式	13,945	5,344	9,133	2,312
債券	198,587	928	177,436	277
外国証券	26,460	172	31,957	△259
その他	6,818	533	2,508	236

(単位：百万円)

	平成25年9月末(実績)	
	時価	評価差額
その他有価証券	238,455	6,621
株式	12,620	4,792
債券	194,683	1,100
外国証券	26,861	288
その他	4,291	440

(単位：百万円)

	平成25年12月末		平成24年12月末	
	帳簿価額	差額	帳簿価額	差額
満期保有目的の債券	150	0	350	△0

(単位：百万円)

	平成25年9月末(実績)	
	帳簿価額	差額
満期保有目的の債券	150	△0

(4) 預金・貸出金の残高(単体)

(単位：百万円)

	25年12月末			24年12月末	25年9月末
		24年12月末比	25年9月末比		
預金	632,559	18,953	16,052	613,606	616,507
うち個人預金	455,315	9,884	8,295	445,431	447,020
譲渡性預金	10,025	5,962	3,657	4,063	6,368
預金等合計	642,585	24,915	19,710	617,670	622,875

(単位：百万円、%)

	25年12月末			24年12月末	25年9月末
		24年12月末比	25年9月末比		
貸出金	414,240	8,528	12,890	405,712	401,350
中小企業等貸出金残高	371,765	7,325	11,177	364,440	360,588
中小企業等貸出金比率	89.74	△0.08	△0.10	89.82	89.84

(5) 個人預かり資産残高

(単位：百万円、%)

	25年12月末		24年12月末	25年9月末	24年12月末	25年9月末
		24年12月末比				
個人預金残高	455,315	9,884	8,295	445,431	447,020	
個人預かり資産残高	45,269	5,040	1,491	40,229	43,778	
個人預かり資産比率	9.9	0.9	0.2	9.0	9.7	
うち投資信託残高	19,499	1,456	158	18,043	19,341	
うち投資信託比率	4.2	0.2	△0.1	4.0	4.3	

(注) 個人預かり資産残高は投資信託、生命保険（販売累計額）、公共債及び外貨預金の合計であります。

以 上

本件に関するお問合わせ先
総合企画部 (0942)32-5353